

第242回 京都歩こう会 コース案内

リーダー 乾 淑郎

日時: 平成28年11月25日(第4金曜)

集合: 市バス・JRバス 高雄バス停前 10時出発

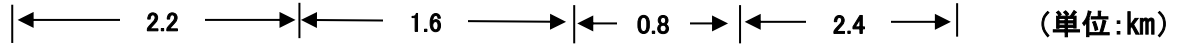
コース: 高雄～菖蒲池～大覚寺～JR嵯峨嵐山駅 ★★

距離: 約 7.0Km

【昼食場所】

【大沢の池一周含む】

行程: 高雄バス停前⇒⇒菖蒲池⇒⇒京見峠⇒⇒直指庵⇒⇒大覚寺⇒⇒JR嵯峨嵐山駅(解散)



《見どころ》

《菖蒲池》

菖蒲池は平安時代 五月の節句に御所に献上する菖蒲を採集したことからその名がある。約380年前寛永4(1627)年 角倉了以の一族で 吉田光由は 光長と共に菖蒲谷の水の一部を堰き止めて池(今で言うダム)とし、長尾山・京見峠の下を貫くトンネルを掘り、水に苦しむ 北嵯峨の農民達を救った。

《直指庵》

浄土宗 南禅寺で臨濟禅を学んだ 独照性円が、正保3(1646)年に没蹤庵が起源である。後 独照が明日の日本黄蘗宗(隠:元禅師)をこの地に招講し、その後 荒廃した一時期もあったが、公家 近衛家に支えていた村岡屋らが再建して、竹林の美しい庭園に若い乙女が訪れる場所となった。

《大覚寺》

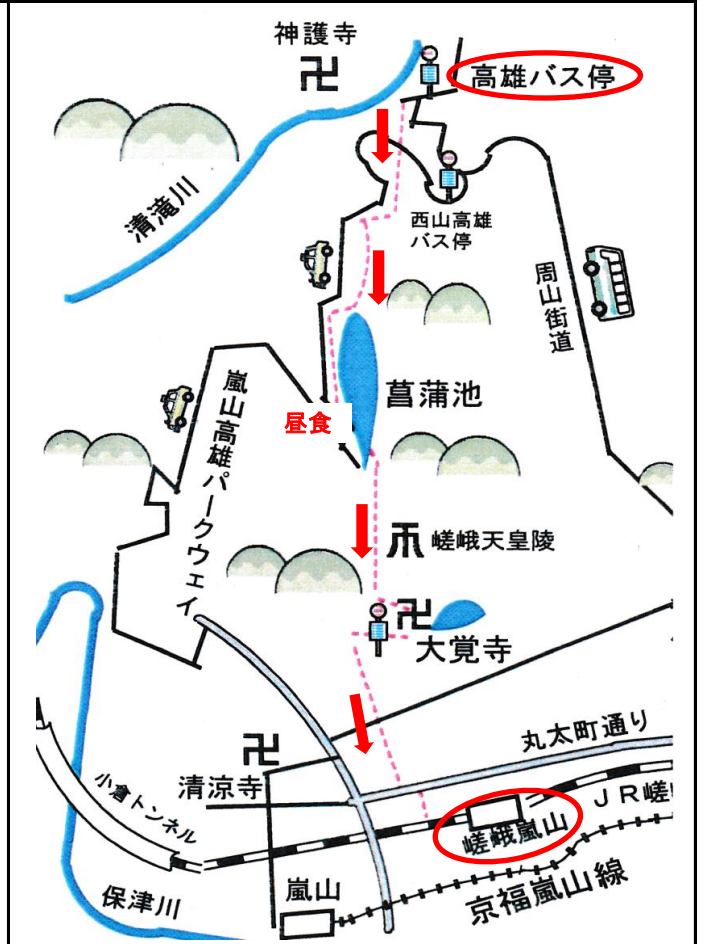
境内にある 大沢の池を散歩すると、池畔の東側に「嵯峨の蟲 いにしえ人になりて聞く」京都俳人 野風呂の句碑があり、旧嵯峨御所と呼ばれる みやびな所でもある。

もともと 第52代の嵯峨天皇と檀林皇后の離宮として建てられた嵯峨院が前身である。

小倉百人一首 第55番 大納言公任

「滝の音は 絶えて久しくなりぬれど
名こそ流れて なほ聞こえけれ」

滝跡あり



《菖蒲池》



《大覚寺多宝塔》



《大沢の池》



【次回 第243回ご案内】

日時: 平成28年12月9日(第2金曜)
集合: JR草津線 手原駅 10時出発
コース: 東海道と中山道の合流点を歩く ★
距離: 6.0km

【次々回 第244回ご案内】

日時: 平成29年1月13日(第2金曜)
集合: 向日神社 本殿前 10時出発
コース: 初詣 向日神社
距離: (食事会参加者は1月5日迄に申し込み要)